

【報告】

共同研究「静岡県天龍社繊維産地における別珍・コール天生地製造関連企業の研究」の報告

国際ファッション専門職大学
篠原航平

1 調査・研究の概要

静岡県の天龍社繊維産地は日本における別珍・コール天（コーデロイ）生地の国内生産シェアの95%以上を占める。同産地の別珍・コール天は高い評価を得ているが、アパレル不況や新興国の台頭、そして別珍・コール天の特性である季節性とトレンド性の高さのため、同産地は苦境に立たされている。別珍・コール天の製造工程には、剪毛（別珍）・カッチング（コール天）と、仕上げ工程で行われる毛焼きと呼ばれる二つの独自工程が存在する。同産地は綿織物の一大産地としても知られるが、両工程は他の組織の織物への転用もできず、別珍・コール天の製造のみで使用される。剪毛・カッチング工程、または毛焼き工程のいずれか一工程でも同産地から消失することになれば、日本産の別珍・コール天は消失する可能性もある。今回の調査・研究では、別珍と比較して生産量の多いコール天に関して、2020年度末にコール天製造関連企業の調査を行った。独自工程の剪毛・カッチング工程と毛焼き工程をはじめとして、日本産のコール天製造を支える企業の動向を明らかにする。

*別珍に関しては調査の核となる産元商社の協力を得ることができず途中で中止とした。

- 研究期間：2019年10月～2022年3月
- 共同研究メンバー：篠原航平（国際ファッション専門職大学、代表）、平井秀樹（国

際ファッション専門職大学）、福田靖（有限会社福田織物）

- 調査事項：2020年度のコール天生地製造に関連する工程別の取引先、取引金額など。具体的調査項目は表1。
- 調査先：繊維商社・生地商・アパレル×1社、荒巻（整経）×1社、賃機×4社、カッチング×2社、仕上げ×1社、染色整理×1社、産元商社・親機×4社、組合など×5社。

調査方法は対面でのヒアリング主体。一部電話、郵送によるアンケートなど。

2 調査・研究の結果

コール天の製造工程は大きく分けると①整経、②サイジング、③経通し、④織布、⑤カッチング、⑥仕上げ（毛焼き）、⑦染色整理の7工程に分けられる。①整経～④織布、及び⑦染色整理の工程は他の織物にも共通している工程である。ただし、⑤カッチング、⑥仕上げの中の毛焼きはコール天のみの独自工程で、他の組織の生地で使用されることはない。それぞれの工程は天龍社産地の専門の事業者が担い、産元商社・親機、繊維商社・生地商・アパレルはコール天製造の意思決定を行う。

調査（表1）は当初、荒巻、サイジング、経通し、賃機、カッチング、仕上げ、染色整理、産元商社・親機、繊維商社・生地商・アパレルの9工程・業態に分類して調査・研究を進めていったが、その過程で賃機、カッチング、仕上げ、産元商社・親機、繊維商社・

表1 別珍・コール天製造に関するアンケートの記入例（筆者作成）

記入例

別珍・コール天製造に関するアンケート

*別珍・コール天の製造に関わっていらっしゃる事業者の方のみご回答ください。
別珍・コール天のみに関するアンケートです。

- 記入日 2021年2月1日
- 記入者氏名 静岡太郎

事業者名	〇〇織物
創設年	昭和30年
代表者・年齢	静岡太郎・65歳
従業員数	5名(パート除く)

①2020年度 (1～12月) 別珍・コール 天の取引金額	[別珍] XXXX万円	[コール天] YYYY万円
②保有織機	レピア(津田駒△△)...3台 シャトル(□□)...2台	
③2020年度 (1～12月) 別珍・コール 天に関する取 引先とその比 率 ※スポット取 引は記入不要 です。	産元商社・ 親機	[別珍(比率100%)]〇〇織物(60%)、△△産業(40%) [コール天(比率100%)]〇〇織物(50%)、××織物(50%)
	織布 (賃機)	[別珍(比率100%)] 〇〇織物(50%)、△△織物 (30%)、□□織物(20%) [コール天(比率100%)] ××織物(100%)
	荒巻	[別珍(比率100%)] ××整経(100%) [コール天(比率100%)] ××整経(100%)

③2020年度 (1～12月) 別珍・コール 天に関する取 引先とその比 率 ※スポット取 引は記入不要 です。	サイジング	[別珍(比率100%)] 〇〇サイジング(100%) [コール天(比率100%)] 〇〇サイジング(100%)
	経過し	[別珍(比率100%)] △△織物(100%) [コール天(比率100%)] △△織物(100%)
	染色 (比率100%)	[別珍(比率100%)] 〇〇染色(100%) [コール天(比率100%)] ××産業(100%)。別珍・コール 天合計)
	仕上げ	[別珍(比率100%)] ××産業(100%) [コール天(比率100%)] ××産業(100%)
	剪毛・ カッチング	[別珍(比率100%)] 〇〇剪毛(100%) [コール天(比率100%)] △△カッチング(100%)
	その他 (繊維商 社・生地 商・アパ レル等)	[別珍(比率100%)] ××産業(100%) [コール天(比率100%)] 〇〇商事(100%)
④後継者の有 無。有の場合 は代表者との 関係	有。静岡次郎(長男)・35歳	

生地商・アパレルの5工程・業態に絞った。その理由は、カッチングと毛焼きを行う仕上げ工程はコール天の独自工程で、この両工程がなければコール天を作ることはできず、産元商社・親機、繊維商社・生地商・アパレルは、コール天製造の意思決定権を持ち、コール天製造業を直接回しているからである。賃機を入れた理由は、コール天の織布工程には独自のノウハウが必要と言われ、賃加工主体の天龍社産地においては、親機に加え、賃機を入れる必要があると考えたからである。それ以外の工程は、前述の通り他の織物製造への転用ができる。これら5工程・業態の取引関係がコール天製造業における根幹と考える。本共同研究を通して、明らかになったの

は以下の2点である。

1. 「繊維商社・生地商・アパレル」、「産元商社・親機」、「賃機」、「カッチング」、「仕上げ」のいずれの工程においても特定企業との取引の集中が見られた。
2. 天龍社産地におけるコール天生地製造関連業は疲弊が進んでいる。コール天の独自工程であるカッチング、コール天及び別珍の独自工程である仕上げ（毛焼き）工程を担う企業はごく僅かしか残っていない。取引が集中する企業の事業承継は完了しているが、この両工程がなくなってしまうと日本のコール天生地製造業は消滅してしまう可能性がある。